

平成 28 年 4 月 7 日

各 位

会 社 名 ポケットカード株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 渡辺 恵一  
(コード番号：8519 東証第1部)  
問 合 せ 先 経営企画部長 林田 義典  
T E L 0 3 - 5 4 4 1 - 3 4 5 0

<http://www.pocketcard.co.jp/ir/>

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社の属するクレジットカード業界は、貸金業法改正に伴う総量規制の影響等によりカードキャッシングは引き続き厳しい環境が続くと予想されますが、一方で 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う経済効果やカード決済領域の拡大等を背景にカードショッピングは継続的に拡大し、中期的に業界環境は好転に向かうものと予想されます。

このような中、当社は企業ビジョンに掲げる「暮らしに密着した付加価値の高いサービスを創造する」を実現し、さらなる企業価値の向上を図るべく、3 ヵ年の中期経営計画を策定いたしました。

今回策定した中期経営計画では、2011 年の経営統合後、当社の成長を牽引したファミマTカード事業について、新規会員獲得と利用促進の両面でさらなる強化を図るとともに、ファミマTカード以外の事業についても、既存提携先との連携強化及び新規営業基盤の開拓を通じて、車の両輪として安定的成長を目指してまいります。また、これらを支える基盤として、付加価値の高い商品・サービスの創出及びカードオペレーション全体の品質向上を通じた事業競争力の強化、並びにコーポレートガバナンス体制の充実、コンプライアンス体制の継続的強化による体制強化に努めてまいります。

これらの実現を通じ、計画の最終年度である 2018 年度において、ROE 8%の達成を目指してまいります。

### 1. 重点取組課題

- (1) ファミマTカード事業のさらなる強化
  - ① 会員基盤の増強
  - ② ショッピングリボ残高の着実な積み上げ
- (2) 既存事業の安定的拡大
  - ① ローン債権残高の反転・積み上げ
  - ② 新規営業基盤の開拓
- (3) サービス&オペレーションの競争力強化
  - ① 高付加価値商品・サービスの創出
  - ② 業務品質の継続的向上
- (4) 持続的成長を実現するための体制強化
  - ① コーポレートガバナンス体制の充実
  - ② コンプライアンス体制の継続的強化

### 2. 定量目標 (2018 年度)

営業収益	400 億円
経常利益	80 億円
当期純利益	50 億円
ROE	8%

以 上